

令和4年度 滝野中学校 学校評価（関係者評価）

- いろいろな面で、細かく評価されているのに感心した。生徒も保護者も多種多様な考えがあり、教育の難しさを感じる。保護者からのとても厳しい意見があるのにもびっくりした。保護者も参観日や行事を通して、又通信や生徒との会話を通してといった学校教育に触れる機会が少ない中での評価となり、厳しい評価にもつながったのではないかと思う。中には多くの細やかな設問には評価しにくかったと意見が出されていた。
- 確かな学力の育成においては、意欲的に取り組んでいる生徒80%、保護者75%となり、ほとんどの生徒が授業はよく分かると答え、基礎的・基本的な知識の定着は図れていると思われる。先生方のご指導の賜物だと思う。しかし主体的な学びについては教師の評価が3弱となり、やらされている状態から脱却できない生徒もいて、ここに難しさもあると思う。
- 将来の夢や目標を持っている(生徒70%)、難しいことでも失敗をおそれないで挑戦しようとする生徒(75%)とやや低く、向上心を持って主体的に取り組むことへの難しさを感じる。しかし、ほとんどの生徒が人の役に立つ人間になりたいと答えているのは、学校教育目標にむけた先生方の取り組みの成果だと思い、明るい未来が見えてくる。
- 90%強の生徒が不安や悩みを持った時、相談できる人がいると答えている。いろんな人に支えられて頑張り通す経験を重ねてきたからだと思う。これからも常に向上心を持って勉強だけでなく、スポーツや趣味等、何事でも多くの成功体験や達成感を経験してほしい。
- 卒業生の答辞に、将来、中学校の先生になりたいと述べていたのが心に残った。昨年度の卒業生のたよりでは、将来になりたい自分として、子どもにかかわる仕事や、教師と答えていた生徒がたくさんいた。きっと先生方の一人一人に寄り添われている姿を見、夢をあたえられたのだと思う。チーム滝中！すばらしい。
- 道徳教育目標の充実・命を守り抜くための、安全教育・ハラスメントのない心身ともに健康で心の通い合った学校づくりの推進の評価が、生徒、保護者とも評価高かったことに感心する。
- 働き方改革推進では評価は前年よりアップしているが、ノー部活デーと定時退勤日を合わせるなど工夫により更に良くなるのでは？
- 生徒のアンケートでは、「思いやりを持って行動している」の評価項目で、生徒の評価が高かった。相手の立場に立って考える行動には感心した。

- 生徒のアンケートでは、タブレット PC 等 ICT の効果的な活用が課題。
- 保護者の評価では、全ての項目で良かったのはすばらしい。
- マスクについては、生徒や保護者の主体的な判断を尊重してマスクの無理強いにならないように早い時期に方針をお願いしたい。
- コロナウィルス感染拡大の中で環境整備さまざまなことを工夫されての学校行事、体育大会、若鮎祭、修学旅行、などを止めることなく出来たのは、管理職の先生方始め教師のご尽力のおかげ。
- 毎年学校評価として、全教職員、保護者、生徒と全関係者により、細かく点検することはとても貴重で不可欠なことだと思う。この結果をもとに今後どのように改善していくかが、この学校評価の真価が問われる点だと思われる。毎年実施するのにも多くの労力があると思うので、その労力に見合う検討が教職員で共通理解が図れていることを期待する。
- 小中一貫が加東市教育の目玉だと思うが、ポイントが他にくらべ悪いのが残念である。特に「かとう学」が低いのがもったいないと思う。
- 保護者・生徒の意見内容で、自己中心的な文句が多いのが、残念。回答の仕方についての制約を工夫してはどうか。
- 保護者のご意見、様々あるが、子どもは学校に居る時間より家にいる時間の方が長いので、子供との会話で学校のことをもう少し知ってほしい。教育や躰、登下校時の自転車の運転など、学校での指導に頼りすぎず、家でも出来る事はあると思う。
わが家では「いってらっしゃい」のあとに必ず「気をつけて！」を言う様にしている。
コロナ禍で様々な制限のかかる中、先生方皆様に創意工夫をしながら、教育・学校行事をして下さった事に心より感謝する。
- コロナの影響により、Face to Face のコミュニケーションが減ったため、それに關するスコアが昨年来より下がっている傾向が出ている感じがするが次年度以降、回復すると思う。
- ICT ツールの活用向上が見られると感じました。 今後も効果的な活用の研究を期待する。